国語科 8学年 評価計画

内容のまとまり・単元 /観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
広がる学びへ 多様な視点から 情報社会を生きる 言葉と向き合う 読書生活を豊かに 人間のきずな	目標		
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解し	論理的に考える力や共感したり想像したりする力 を養い、社会生活における人との関わりの中で伝	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に 役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考
	たりすることができるようにする。	え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深 めたりすることができるようにする。	えを伝え合おうとする態度を養う。
	評価規準		
	・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (1) エ	・ 「話すこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。A (1) オ	・粘り強く自分の考えをまとめ、今までの学習を生かして議論しようとしている。
	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係について理解している。(2)ア ・本や文章には様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分	たり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる	・積極的に文章の改善点を見いだし、学習課題に沿って意見を述べる 文章を書こうとしている。・粘り強く情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもっ
		・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、 文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。	て考えたことを提案しようとしている。
	a。(1) ァ		
	・小テスト ・定期考査 ・作文 等	・小テスト ・定期考査 ・ワークシート ・作文 等	・観察 ・ワークシート ・ノート 等
論理を捉えて いにしえの心を訪ねる 価値を語る 読書に親しむ 表現を見つめる 振り返り	目標		
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付	論理的に考える力や共感したり想像したりする力	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に
	けるとともに、我が国の言語文化に親しんだ	を養い、社会生活における人との関わりの中で伝	役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考
	り理解したりすることができるようにする。	え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深 めたりすることができる。	えを伝え合おうとする態度を養う。
		評価規準	
	・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、語感を磨き語彙を 豊かにすることができる。(1)エ ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係について理解してい る。(2)ア	・「話すこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめようとしている。A(1)オ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる	・粘り強く話や文章の構成や展開についての理解を深め、学習の見通 しをもって物語を創作しようとしている。 ・積極的に内容を解釈し、学習課題に沿って理解したことを説明しよ うとしている。
	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 (3) ア ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に	文章になるように工夫しようとしている。B(1) ウ ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりし	・粘り強く登場人物の言動の意味を考え、学習課題に沿って解説しようとしている。 ・粘り強く情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもっ
	表れたものの見方や考え方を知ることができる。(3)イ	て、内容を解釈しようとしている。C(1) ウ ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、 文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えようとしている。	て考えたことを提案しようとしている。
	評価方法		
	・小テスト ・定期考査 ・作文 等	・小テスト ・定期考査 ・ワークシート ・作文 等	・観察 ・ワークシート ・ノート 等